

## 平成22年度事業報告

### I. 学術集会, 講演会, シンポジウムの開催

#### (1) 日本心理学会第74回大会

期日：平成22年 9月20日（月）—22日（水）

会場：大阪大学豊中キャンパス

主催校：大阪大学（大会会長：三浦 利章教授）

#### (2) 公開シンポジウム

##### (a) 利他性の心理と行動——思いやりの根源とその意義を探る——

i) 期日：平成22年 7月25日（日）

会場：科学技術館サイエンスホール

ii) 期日：平成22年 8月 1日（日）

会場：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール

##### (b) 頭の良さについて考える：IQとEI

i) 期日：平成22年10月16日（土）

会場：科学技術館サイエンスホール

ii) 期日：平成22年12月 4日（土）

会場：鹿児島大学稲盛会館

### II. 学会誌等の刊行

(1) 機関誌“心理学研究”第81巻第1号—第6号を刊行した。

(2) 機関誌“Japanese Psychological Research” Vol. 52, No. 2-No. 4 & Vol. 53, No. 1を刊行した。

(3) 会誌“心理学ワールド”第49号—第52号を刊行した。

(4) “心理学ワールド 50号刊行記念書籍”を刊行した。

### III. 研究業績の表彰と研究の奨励

#### (1) 社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考

平成21年度刊行の“心理学研究”および“Japanese Psychological Research”（特集号を除く）掲載の原著論文のうちから選考委員会において受賞論文を決定し、平成22年度会員集會時に授与式を行った。

#### <優秀論文賞>

##### (a) 信頼が報われる条件

著者：神信人（淑徳大学）・田中寿夫（千葉県子どもと親のサポートセンター）

掲載：心理学研究第 80 巻第 2 号

##### (b) 共通基盤を考慮する前にアイロニー的意味の活性化は生じるのか

著者：秋元頼孝・邑本俊亮（東北大学）

掲載：心理学研究第 80 巻第 5 号

##### (c) アイロニーによる非難の対象は反復的言及によって同定されるか

著者：石田容士・阿部純一（北海道大学）

掲載：心理学研究第 80 巻第 6 号

##### (d) Flow experiences in everyday activities of Japanese college students: Autotelic people and time management

著者：石村郁夫・小玉正博（筑波大学）

掲載：Japanese Psychological Research Vol.51 No.1

(e) Nine- to 11-month-old infants' reasoning about causality in anomalous human movements

著者：小杉大輔（静岡理工科大学）・石田開（岐阜聖徳学園大学短期大学部）・

村井千寿子（玉川大学）・藤田和生（京都大学）

掲載：Japanese Psychological Research Vol.51 No.4

(2) 社団法人日本心理学会優秀論文賞の授与

受賞論文に対して、研究奨励金を授与した。

#### IV. 国際的活動の表彰

(1) 社団法人日本心理学会国際賞の選考

国際賞選考委員会にて、国際賞授賞者を選考し、平成22年度会員集会時に授与式を行った。

<国際賞>

功労賞

坂野 雄二（北海道医療大学 心理科学部）

奨励賞

平田 聡（林原生物化学研究所類人猿研究センター）

増田 貴彦（アルバータ大学 心理学部）

齋木 潤（京都大学 人間・環境学研究科）

齊藤 智（京都大学 教育学研究科 教育認知心理学講座）

(2) 社団法人日本心理学会国際賞の授与

受賞者に対して、賞金と記念品を授与した。

#### V. 資格の認定

(1) 社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与

平成23年3月31日現在、総件数3 482件を審査し、3 069名を合格、86名を不合格、327名を保留とした。必要な手続を経て資格を取得した者は3 179名であった。

(2) 社団法人日本心理学会認定心理士研修会

(a) 広告におけるメディアの役割と消費者の心理

期日：平成22年 5月22日（土）

会場：泉ガーデンコンファレンスセンター（六本木）

(b) ストレス社会でいかす認知行動療法

期日：平成22年 5月29日（土）

会場：金城学院大学

(c) 初めて出会う認知行動療法

期日：平成22年 9月20日（月）—22日（水）（第74回大会内）

会場：大阪大学

(d) 知能としての言語と音楽

期日：平成22年10月10日（日）（北海道心理学会内）

会場：札幌国際大学

(3) 認定心理士資格準拠教科書の編集

## VI. 学会業務の電子化とその促進

### (1) 機関誌投稿編集業務の電子化

論文の投稿受付は投稿・編集システムにより行っている。

### (2) その他の学会業務の電子化

会員管理システム改訂の検討を行った。

## VII. 関連学術団体等との連絡および協力

### (1) 国際心理科学連合

分担金を支払った。

### (2) 国際テスト委員会

分担金を支払った。

### (3) 日本学術会議

学術研究協力団体として、研究協力を行った。

安全工学シンポジウムに共催した。

### (4) 日本心理学諸学会連合

本会から3名、理事として参加している。

会費および認定心理士承認料を支払った。

### (5) 日本認定心理士会

協力金を支払った。

## VIII. 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

### (1) 各種委員会の開催

常置委員会・特別委員会にて所管事項を審議した。

### (2) 研究集会等への支援

25件の研究集会等助成を行なった。

### (3) 国際会議参加者への旅費補助

21名の国際会議参加者への旅費補助を行なった（国際応用心理学会，韓国心理学会 他）。

### (4) 公益社団法人申請の検討

公益社団法人化申請を行い，移行が認定された。

### (5) 会員名簿の改訂ならびに発行

会員名簿を刊行した。

### (6) 代議員・役員選挙の実施

代議員選挙，理事・監事選挙を実施した。

### (7) その他

以上